

【担当教員名】 山口富一	対象学年	4	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	30

<一般目標：G I O>

聴覚障害から来る多面的な不自由さをより深く理解し、QOL改善のためにどのような支援や取り組みができるのかを中心に、関係論文を読み、言語聴覚士として必要な実践的な力を養う。また卒業研究に関連させて専門性を深める。

<行動目標：S B O>

- 1 聴覚障害関係の学会や研究会からの論文を探ることができる。(教員からの提示もある)
- 2 参考書や参考図書も活用して論文内容を読み取ることができる。
- 3 論文の概要をまとめることができる。
- 4 論文執筆者に代わって論文内容を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	関係論文の選定と解説	1	講義
2	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
3	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
4	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
5	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
6	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
7	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
8	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
9	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
10	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
11	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
12	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
13	論文輪読と質疑応答、共通テーマについて理解を深める。	全	論文輪読・講義
14	まとめの講義	全	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	今までに購入したものを利用			
参考書				
その他の資料	必要に応じてプリント配布			

【評価方法】 論文の分析やテーマの理解力を発表を元に評価する。	【履修上の留意点】 ・臨床実習等と重なるときは事前に発表を調整するので予定を早めに連絡すること。 ・主体的な学習を重視する
------------------------------------	---

言語聴覚学科  
専門